

“ようこそ先輩”

## 三枝 正人様

(麻布小地区防災協議会会長：昭和36年3月卒業)

平成27年10月5日(月)

### 1. 小学校時代の町の様子(店、交通、住居など)をお話してください。

・龍土町(今の六本木7丁目)に住んでいました。国立新美術館などがある所です。昭和30年に入学し、入学した時が80周年でした。昔の校舎で、正門を入れて右側に講堂がありました。昭和30年ころはまだ高速道路がなかったと思います。プールは今と反対のせせらぎ側にありました。1学年5クラスでたくさんの児童がいました。まだいろいろな物が無い時代で、きれいな恰好をしている人も少なかったです。

### 2. どんなことをして遊びましたか。

・今は家の中でゲームなどをしているのでしょうか。昔は空き地があって、学校から帰るとその空き地で鬼ごっこやボール投げ、野球などをしたのを覚えています。

(校長) せせらぎ側にあったプールの壁を乗り越えて遊びに行っていたという話も聞きましたが、そのことについてお話してください。

★子どものころはちょっと悪いことも若干しました。遊ぶことに夢中で、そういうことをして発散していたのだと思います。

### 3. 学校の授業や先生の思い出をお話してください。

#### 給食の思い出や好きだった献立は何でしたか。

・6年間1組でした。3年間は女性の先生、あとの3年間は男性の先生でした。女性の先生の方が厳しかったです。教室の外に立たされたことを覚えています。小さいころに怒られるということはありがたいことです。学校は楽しい反面厳しかったです。給食のことですが、先週の月曜日に、皆さんと同じメニューをいただきました。サバの味噌煮でしたが、非常に美味しかったです。自分たちの時とは全然違います。牛乳ではなく脱脂粉乳で、味はよくなかったのですが、「美味しい」と言って飲んでいました。好きな献立ということですが、揚げパンが一番好きでした。パンもいろんなパンはなく、コッペパンが主流でした。

#### 4. 学校で遠足はどのような所に行きましたか。宿泊行事はありましたか。

・遠足は1番近くが浜離宮、遠くは箱根ニコニコ学園やユネスコ村に行きました。場所はあまり覚えていませんが、持っていったものはよく覚えています。バナナやキャラメル、チョコレート（板チョコ）などを持って行きました。当時はお菓子も少なかったです。みんなとお弁当と一緒に食べ、みんなのお弁当を見ると、どれにも卵焼きが入っていました。卵は当時とても貴重なものでした。

(校長) バナナは当時高級品でした。

#### 5. 今の子どもたちに期待することをお話してください。また、これからの麻布小学校への願いをお話してください。

・学校に一所懸命通っているということは、生きていうことです。一番忘れてはいけないことは、自分一人で生きていうのではないということです。皆さんにはお父さんがいて、お母さんがいる。そしておじいさんとおばあさんがいる。自分が生まれるために倍々になって人がいたのです。祖先がいるのです。自分が今生きていうことは、その人たちに支えられているということ、そのことに感謝していつてほしいです。先生を含め、みんなを支えてくれている人たちに感謝の気持ちを忘れないようにしていつてほしいと思います。

(校長) 運動会のリレーは町会対抗で行っていたそうです。また、当時1クラス50人程度いたので、1学年250人ぐらいだったそうです。

